

地域教育開発専攻の特色ある教育活動（２）

フィールド教育演習

真冬における東北北海道の自然に分け入り、極寒の野外で安全に動き回れる知恵と技術とたくましさを身につけ、大自然が提供してくれる様々な感動と気づきに感謝しつつ感慨にふけようという講義です。プロのアウトドアガイドに講師を務めてもらっています。

歩くスキーや山スキーを使って、山林に分け入ったり流氷を眺めながら海岸を颯爽と散歩したりすることが活動の中心となっています。熊（ひぐま：これには会いたくないです！）以外の様々な動物と遭遇したり、植物の状態から自然環境の状態を読み取ったり、満天の星空に目を奪われたり、学生にとっては感動の連続です。有志はマイナス15度Cの野外泊も経験しました（インディアンのテントとして知られる「ティピー」を使用）。

（専任講師：平岡亮 記）



写真上：山スキーで進む森の中。左：夜はアイスクャンドルも。右：ティピー設営できました。